

「大槌町体育協会の取り組み」

大槌町体育協会は、昭和24年に発足し、現在は19種目の競技別協会で構成され、体育・スポーツ水準の向上とスポーツ少年団の育成など、行政と協力し、様々なスポーツ事業を展開しております。

種目別協会では、独自に各種大会の開催や事業を実施しており、その他には岩手県民体育大会などへ出場しています。

連携事業

当協会では、町内外で開催される各種目大会へ共催や後援、協力を行っております。

また、当町のスポーツ事業で平成17年より毎年5月に実施されている「チャレンジデー」や、平成23年から「オリンピックデー・フェスタ」などにも協力しており、スポーツ推進委員の皆様と連携し、一体となってスポーツ振興を図っております。

競技別協会の主催事業

バレーボール協会では、平成12年から毎年4月に「大槌町ソフトバレーボール南リアス大会」を開催しており、県内外から多くのチームにご参加いただいております。東日本大震災と昨年のコロナ禍により開催が2度中止となりましたが、今後も幅広い年代にご参



左:サッカー場、右:野球場・テニスコート

加いただけるよう努めていきます。

相撲協会では、正しい相撲道の普及を図るとともに、相撲道を通じて、少年の心身の健全育成に寄与することを目的に、町内の児童に対して、平成30年に「少年相撲教室」を開催しました。当日は、(公財)日本相撲協会のご協力により、講師として峰崎親方と力士2名にお越しいただき、準備運動として「四股」や基本動作の「仕切」「立会い」などを丁寧に教えていただきました。

今後の取り組み

当協会では、継続して競技別協会及びスポーツ少年団へのサポートの充実を図りながら、来年度から供用開始される「野球場」「サッカー場」「テニスコート」を活用し、新たなスポーツ競技人口の増加と交流人口の拡大に努め、引き続き町民の心身の健康維持のためスポーツの普及及び振興に努めていきます。



東日本大震災から10年目の市街地



チャレンジデーの様子